

四国横断自動車道 吉野川渡河部の環境保全に関する検討会

---

---

# 環境モニタリング調査（事前調査） 調査結果データ集

---

---

（平成 26 年 9 月～平成 27 年 10 月調査分）

みち、ひと…未来へ。



---

---

# 目 次

---

---

■ 第1章 環境モニタリング調査の基本事項	P1-1
・ 1.1 調査目的	P1-1
・ 1.2 調査項目と調査範囲の考え方	P1-1
・ 1.3 調査区分	P1-2
・ 1.4 施工段階	P1-2
・ 1.5 調査全体スケジュール	P1-3
■ 第2章 騒音・振動調査	P2-1
・ 2.1 調査目的	P2-1
・ 2.2 調査内容	P2-1
2.2.1 環境モニタリング調査計画	P2-1
2.2.2 全体スケジュール	P2-2
2.2.3 調査方法概要	P2-3
・ 2.3 調査結果	P2-7
2.3.1 事前調査	P2-7
■ 第3章 水質調査	P3-1
・ 3.1 調査目的	P3-1
・ 3.2 調査内容	P3-1
3.2.1 環境モニタリング調査計画	P3-1
3.2.2 全体スケジュール	P3-3
3.2.3 調査方法概要	P3-4
・ 3.3 調査結果	P3-6
3.3.1 事前調査	P3-6
・ 3.4 参考資料	P3-14
■ 第4章 地形調査	P4-1
・ 4.1 調査目的	P4-1
・ 4.2 調査内容	P4-1
4.2.1 環境モニタリング調査計画	P4-1
4.2.2 全体スケジュール	P4-2
4.2.3 調査方法概要	P4-3

• 4.3	調査結果	P4-5
4.3.1	潮位及び河口干潟面積の変遷	P4-5
4.3.2	吉野川渡河部の地形の変遷	P4-5
4.3.3	橋脚周辺の地形の変遷	P4-9
4.3.4	横断線・縦断線の変遷	P4-11

## ■ 第5章 底生生物・底質調査 P5-1

• 5.1	調査目的	P5-1
• 5.2	調査内容	P5-1
5.2.1	環境モニタリング調査計画	P5-1
5.2.2	全体スケジュール	P5-3
5.2.3	調査方法概要	P5-4
• 5.3	調査結果	P5-6
5.3.1	潮下帯定量調査	P5-6
5.3.2	潮間帯定量調査	P5-21
5.3.3	付着生物調査	P5-26
• 5.4	参考資料	P5-30
5.4.1	潮下帯定量調査	P5-31
5.4.2	潮間帯定量調査	P5-51
5.4.3	付着生物調査	P5-55

## ■ 第6章 鳥類調査 P6-1

• 6.1	調査目的	P6-1
• 6.2	調査内容	P6-1
6.2.1	環境モニタリング調査計画	P6-1
6.2.2	全体スケジュール	P6-4
6.2.3	調査方法概要	P6-5
• 6.3	調査結果	P6-13
6.3.1	飛翔状況調査	P6-13
6.3.2	生息状況調査	P6-22
6.3.3	その他の調査	P6-40
• 6.4	参考資料	P6-58

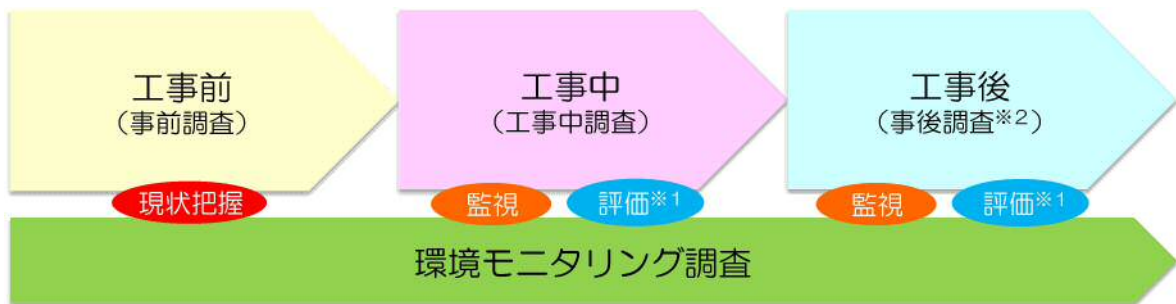
## ■ 第7章 魚類調査 P7-1

- 7.1 調査目的..... P7-1
- 7.2 調査内容..... P7-1
  - 7.2.1 環境モニタリング調査計画..... P7-1
  - 7.2.2 全体スケジュール..... P7-2
  - 7.2.3 調査方法概要..... P7-3
- 7.3 調査結果..... P7-4
  - 7.3.1 刺網..... P7-4
  - 7.3.2 サーフネット..... P7-8

# 第 1 章 環境モニタリング調査の基本事項

## 1.1 調査目的

環境モニタリング調査は、吉野川渡河部の自然環境を保全するため、工事实施段階(工事前・工事中・工事後)における、現状把握・環境監視・評価の実施を目的とする。なお、必要に応じて環境保全対策を検討することを目的とする。



※1：評価の後、必要に応じて環境保全対策を検討する。

※2：事後調査は、下部工完成後2年間、桁架設工完了後2年間実施する。

## 1.2 調査項目と調査範囲の考え方

橋梁整備(橋梁の存在と工事施工)による環境への影響は、工事前後の調査結果を単純に比較するだけでなく、自然変動も踏まえて適正に評価する必要がある。これらを踏まえ、各調査項目と調査範囲の考え方を表 1.2-1 に示す。

表 1.2-1 調査項目と調査範囲の考え方

調査項目	橋梁整備による直接的な影響を把握するための調査範囲	自然変動による影響を把握するための調査範囲
① 騒音・振動調査	シギ・チドリ類のねぐら付近 周辺家屋	—
② 水質調査	工事施工で設置する 汚濁拡散防止膜の周辺	左記の位置から離れた地点
③ 地形調査	橋脚設置により、地形変動が生じると 予測される範囲※1	左記の領域に隣接する範囲
④ 底生生物・底質調査		
⑤ 鳥類調査	橋梁整備により、鳥類の行動・個体数等の 変化が観測される範囲	日本全体※2
⑥ 魚類調査	計画路線上の周辺	—

※1：吉野川距離標 0.0k から上下流に 400m の範囲。

※2：日本全体と徳島県（吉野川河口）に出現するシギ・チドリ類の変動傾向を環境省等のデータから把握する。

### 1.3 調査区分

環境モニタリング調査の調査区分を表 1.3-1 に示す。

表 1.3-1 調査区分

調査段階	内容
①事前調査	○工事前の環境を把握するための調査 事前調査の結果は、工事前の現況把握のほか、工事中調査計画をブラッシュアップするための基礎資料とする。
②工事中調査	○工事中の環境を監視するための調査
③事後調査	○工事後の環境を監視するための調査

### 1.4 施工段階

環境モニタリング調査の施工段階を以下に示す。

○下部工施工

調査区分	施工段階
事前調査	工事着手前
工事中調査	下部工施工期間 (湧水期)
	下部工施工休止期間 (出水期)
事後調査	下部工施工完了後(2年間)

○上部工施工

調査区分	施工段階
事前調査	工事着手前
工事中調査	桁架設工期間
事後調査	桁架設完了後(2年間)

